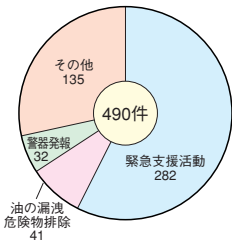
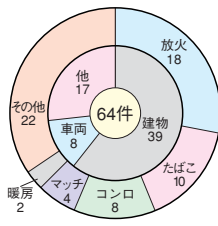


消さないで あなたの心の 注意の火。

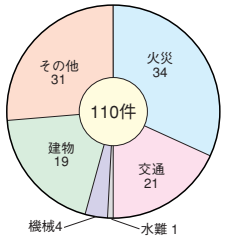
平成 18 年度全国統一防火標語



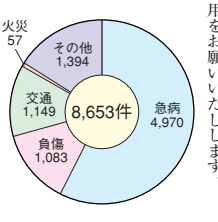
火災以外の警戒出動
消火活動以外にも、発火の恐れのある危険物の排除活動などがあります。



火災件数・種別・原因
昨年1年間発生した火災件数は64件で、1名の尊い命が奪われ、15名の方が負傷しました。出火原因のトップは、「放火・放火の疑いで、依然人による火の取扱の不注意が原因となっている」です。



救助出動は110件で、そのうち、45名を救出しました。



救急件数
救急出動件数は8,653件で、そのうち病院に搬送された方は7981名です。半数以上は病院で軽症と判断されました。管内の救急車が全て出動してしまい、生死に関わる救急現場へ運ぶの恐れがあります。正しい利用をお願いします。

三芳町・富士見市・ふじみ野市 平成18年中の火災・救急・救助状況

火災件数・種別・原因

救急件数

訓練模様

今回は藤久保小学校の避難訓練にお邪魔しました。驚いた事に、訓練終了後、生徒はすぐにグラウンドでランニングを始めました。災害に負けない体力作りも避難訓練の一つですね。

増玉県第2ブロック救助指導会が実施されます

5月22日(火)、午前9時から富士見市にある消防訓練場において、近隣10消防本部の参加により「増玉県第2ブロック救助指導会」が実施されます。日頃鍛え抜いた消防救助技術の正確さ・迅速さを競い、互いに知識技術と交換する機会です。ますます複雑多様化する災害現場に即応する目的で行われます。見学は自由ですが、駐車場が多数ございませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。住民の皆様からの応援は、隊員にとって励みになります。是非ご来場ください。なお、同会場で6月16日(土)に埼玉県大会が実施されます。両大会当日は雷管(スタートの合図)の音が鳴るなど、近隣住民の方々にはご迷惑をおかけしますが、何卒皆様のご理解をお願いいたします。



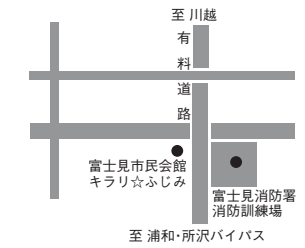
煙が充満した教室で、視界の悪さを体験



下級生も、一言もしゃべらず避難していました。



しゃべらず、押さず、走らず避難できました。



Q 消防車や救急車はサイレンを鳴らさないで来てもらえますか？

A 「救急車をお願いしません。けれどサイレンは鳴らさないで来て下さい。」といった通報があります。また「サイレンがうるさい！」といった苦情もあります。火事や急病などで119番通報を受け、緊急走行をする際は、法律により必ず赤色灯を灯火し、サイレンを吹鳴しなければなりません。これは、安全で迅速に災害・救急現場へ向かう際に、他の一般車や歩行者に注意を促すためのものです。要請場所手前でサイレンを消したり、誘導する人の手を振る姿などが確認できた時点でサイレンを消すなどの工夫をいたします。

また、救急車を要請しても、救急隊員だけでは対応が困難な場合、救急車と消防車が一緒に来る事があります。救急隊員と消防隊員が連携し救急活動を行います。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



みんなの消防-81号- 住み慣れた 街の安心 防火から - 入間東部地区消防組合防火標語 -

管理者就任挨拶

管理者 浦野 清
(富士見市長)

4月から入間東部地区消防組合管理者に就任いたしました。地域住民の皆様信頼される消防体制確立のため、最善の努力を尽くしてまいります。

現在、入間東部地区の2市1町の人口は、24万5千人を超え、災害は多種多様を極めております。引き続き社会の変化に対応した消防力の充実強化を図ってまいります。皆様より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

- 管理者 浦野 清 (富士見市長)
- 副管理者 鈴木 英美 (三芳町長)
- 副管理者 島田 行雄 (ふじみ野市長)



西武球場前駅での訓練

増玉県特別機動援助隊 合同訓練実施

1月31日所沢市の西武球場前駅周辺で、県内15消防本部・県防災航空隊・医療機関などの参加で、埼玉県特別機動援助隊(愛称S.M.A.R.T.)の合同訓練を実施。地震による大規模災害を想定し、各機関の連携を確認しました。



消防長と米山さん親子

春の火災予防運動を実施

1月16日に富士見市内で発生した建物火災において、近所に住む米山智子さんが、煙の充満している部屋から子供を救出し、さらに初期消火をし、被害を最小限に抑えました。勇気ある行動に対し、消防本部から感謝状を贈りました。

女性消防団員研修実施

1月20日埼玉県防災学習センターで、県内では第1回目となる女性消防団員研修が行われました。「男の世界」というイメージの強い消防団ですが、主な活動として、女性特有のきめ細やかさを活かした火災予防活動、情報広報活動、応急救護などを行います。全国で約1万5千人の女性消防団員が活躍しており三芳町・富士見市・ふじみ野市では合わせて14人の女性団員が活躍しています。入団に関する問い合わせ 2611-6659 警防課

聴覚障害者の参加による消防・救急訓練実施

3月17日に富士見消防署で、聴覚障害者による消防・救急訓練を実施。従来消防署が指導する訓練は、健常者が訓練を受ける事を前提としてきました。聴覚障害者も初期消火や、応急処置を施す場面で、正しく対処する事が必要です。今更多くの聴覚障害者の方に積極的に参加していただければ、今後の指導する上で課題を多く発見する事ができます。住民の皆様には、119番通報など、手助けを要請された際は御協力をお願いいたします。



女性消防団員により、風船がくぼられました



隊員による、消火器の取り扱い説明

春の火災予防運動を実施

3月1日〜7日の間、春の火災予防運動を実施しました。火事の発生しやすいこの時期に、住民の皆様さんの火災予防に対する意識がより一層強くなる事を目的としています。

火災予防キャンペーンとして三芳町「UNICUS」、ふじみ野市「イトーヨーカドー上福岡東店」の場所をお借りし、地震体験車、消防車両展示、パンフレットの配布、消防音楽隊の演奏を行い、火災予防の啓発を行いました。各事業所やマンションでは、消防訓練や火災予防検査を強化し実施。春とはいえ、まだまだ肌寒く、一日の中で気温が不安定になりやすいこの時期は、特に暖房器具の消し忘れが多くあります。引き続き、火災予防をお願いします。

カラオケ店の特別検査を実施

1月に兵庫県宝塚市で発生し、3名の尊い犠牲を出したカラオケ店での火災を重く受け止めて、管内にあるカラオケ店10店舗の特別検査及び実態調査を実施。法令違反等に対して、すまやかに改善するように指示し、火災予防管理について、改めて整えるよう要請しました。

カラオケ店以外でも、法令により用途変更届けが必要があるにもかかわらず、届出を行っていない場合も多く、消防署では引き続き実態調査を実施します。

消防職員に対する懲戒処分基準を制定

入間東部地区消防組合職員の懲戒処分の基準を制定し、昨年12月から施行しました。勤務時間内外を問わず、職員による飲酒運転や不法行為などの不祥事に対し、より厳しい処分の基準を独自に制定しました。あらゆる災害から住民の生命・身体・財産を守るという崇高で重要な任務を遂行する消防職員として今まで同様社会規範を守り当基準を戒めとして、今後とも地域の安心・安全に努めていく所存です。